



日本農芸化学会2011年度大会(京都女子大)
2011年3月26日(土)



10:00-12:00: 高大連携シンポジウム(一般公開講演会)
大学・企業から高校生へのメッセージ、高校におけるチャレンジ

および

13:30-16:30: 高校生による研究発表会
- ジュニア農芸化学会 -

化学・生物・環境に関係した身近な現象の研究発表会に参加してみませんか

日本農芸化学会2011年度大会

高校生に送る熱きメッセージ

高大連携シンポジウム

主催：大会実行委員会

後援：(独)科学技術振興機構・京都府教育委員会・京都市教育委員会・日本農芸化学会学術活動強化委員会・同関西支部・財団法人農芸化学研究奨励会・京都女子大学

協賛：ベネッセコーポレーション・カルナバイオサイエンス・大洋香料・塩野義製薬・ヤクルト・日本新薬・

日本学術振興会産学協力研究委員会(地球環境・食糧・資源のための植物バイオ第160委員会)・大日本除虫菊

日時：2011年3月26日(土)

場所：日本農芸化学会2011年度大会(京都女子大学)・M校舎
(音楽棟)

対象) 高校生、高校教員および大会参加者(一般公開)

参加費) 無料

プログラム(予定・敬称略)

10:00~10:20 宮川 恒(京都大学農学研究科副研究科長)

「高校生に送るメッセージー大学とはどのような場か、大学でどのように活躍してほしいか?ー」

10:20~10:40 横関健三(京都大学農学研究科客員教授、味の素株式会社バイオ・ファイン事業本部バイオ・ファイン研究所アドバイザー)

「高校生に送るメッセージー日本(企業)が求める人材とは?ー」

10:40~11:20 進藤明彦(岡山県立玉島高等学校教諭、JSEC審査員)

「つながることの面白さー高校生の研究活動の支援からー」

11:20~12:00 磯貝彰(奈良先端大学院大学学長)

「農芸化学のこれまで、いま、そして、これからー微生物とカイコと菜の花とー」

応募先および問合せ先:

〒606-8052

京都市左京区北白川追分町

京都大学統合生命科学専攻全能性統御機構学「高校生による研究発表」係

担当:遠藤剛 Tel 075-753-6381/E-mail: tuendo@kais.kyoto-u.ac.jp



日本農芸化学会2011年度大会

「化学」・「生物」・「環境」に関係した身近な現象の研究発表会に参加してみませんか

ジュニア農芸化学会「高校生による研究発表会 —化学、生物、環境—」

主催：大会実行委員会

後援：(独)科学技術振興機構・京都府教育委員会・京都市教育委員会・日本農芸化学会学術活動強化委員会・
同関西支部・財団法人農芸化学研究奨励会・京都女子大学

協賛：ベネッセコーポレーション・カルナバイオサイエンス・大洋香料・塩野義製薬・ヤクルト・日本新薬・

日本学術振興会産学協力研究委員会(地球環境・食糧・資源のための植物バイオ第160委員会)・大日本除虫菊

日時：2011年3月26日(土)

場所：日本農芸化学会2011年度大会(京都女子大学)・体育館

ポスター：A0版以内(ボードは横 90 cm × 縦 180 cm)

対象)高等学校 化学クラブ・生物クラブ・生活科学クラブ・農業・園芸関係高等学校ほか

日頃の研究成果を、大学の先生や大学(院)生の前で発表し、学校の枠を超え、世代を超えて自由な議論に参加しませんか。優秀な発表には、ポスター賞を贈呈します。多くの皆さんの応募をお待ちしています。

応募期間： 2010年12月1日(水)から2010年12月31日(金)

応募資格： 高等学校の生徒であること(ただし、指導の先生も参加可能であること)

応募要領： 募集要項を記載の上、下記の応募先へ郵送して下さい。なお、要旨(A4版 1枚)は例をご参照頂き、2月28日(月)までに下記あてに提出下さい。

プログラム： 13:30-16:30 化学、生物、環境およびそれに関連した科学研究一般に関する発表と表彰式
17:00-19:00 懇親会

キーワード： 環境、エコシステム、ビオトープ、森林、生命、ゲノム、昆虫、植物、動物、微生物、細胞、酵素、発酵、食品、天然物、環境ホルモン、酸と塩基、酸化還元 ほか

参加費： 無料、ジュニア農芸化学参加者には昼食を用意します。なお、旅費支援につきましては、個別に対応させていただきますのでご相談ください。原則として遠方からの参加校の場合、1校3件以内で、引率教員1名、生徒2名の旅費として最高10万円の予定です。

後援事業： 高大連携シンポジウム・ジュニア農芸化学に対する援助を募集しております。詳細は、下記へお問い合わせください。

応募先および問合せ先：

〒606-8052 京都市左京区北白川追分町

京都大学統合生命科学専攻全能性統御機構学「高校生による研究発表」係

担当：遠藤剛 Tel 075-753-6381/E-mail: tuendo@kais.kyoto-u.ac.jp

詳細は、HPをご覧ください。(http://www.jsbba-kansai.jp/content/blogcategory/10/15/)

21世紀を切り開く未来の科学者の発表を広く募集します
優秀な発表には、ポスター賞を贈呈します





主な交通機関

JR・近鉄「京都」駅より

市バス206、208または100で約10分、「東山七条」で下車し東へ徒歩5分

JR「京都駅八条口」より

プリンセスバスで約15分、「京都女子学園前」で下車し、徒歩すぐ

阪急「河原町」駅より

1番出口から京阪「四条」駅へ、京阪「七条」駅で下車し東へ徒歩15分

6番出口から市バス207で約15分、「東山七条」で下車し東へ徒歩5分

京阪「七条」駅より

東へ徒歩15分。プリンセスラインバスで約8分、「京都女子学園前」で下車し、徒歩すぐ

日本農芸化学会2011年度大会

「高校生による研究発表会－化学、生物、環境」

主催：大会実行委員会

後援：(独)科学技術振興機構・京都府教育委員会・京都市教育委員会・日本農芸化学会学術活動強化委員会・同関西支部・財団法人農芸化学研究奨励会・京都女子大学

協賛：ペネッセコーポレーション・カルナバイオサイエンス・大洋香料・塩野義製薬・ヤクルト・日本新薬・日本学術振興会産学協力研究委員会(地球環境・食糧・資源のための植物バイオ第160委員会)・大日本除虫菊

高校生によるポスター発表 募集要項

学校名 (正式名称をご記入下さい)

学校所在地

担当教諭名

担当教科

電話

FAX

E-mail

クラブ名称

参加者名・学年

要旨(例)

モーツァルト効果は本当にあるのか？

— アサガオの開花におけるモーツァルトの音楽の影響 —

野依総司、利根川勇、田中一、江崎新八、赤松小町
(京都府立ノーベル高校・科学部)

【目的】癒しの効果があり、心身の健康によいといわれるモーツァルトの音楽が、植物の開花に影響を与えるかどうかを検証した。

【方法】鉢植えアサガオを合計 70 株用意し、10 株ずつをグループとした。6 グループは、それぞれ異なるモーツァルトの CD を、毎朝 30 分間聴かせた。残り 1 グループは対照区として、音楽を聴かせないで育てた。音楽以外は同じ条件下で育て、開花の時期、開花数を記録した。

【結果】モーツァルトの音楽を聴かせたアサガオの開花時期および開花数、および、音楽を聴かせないで育てたアサガオの開花時期と開花数を表にまとめた。結果、「フィガロの結婚」と「レクイエム」では、演奏に関わらず対照区のグループより早く開花した。また、「トルコ行進曲」では、演奏に関わらず、対照区と大きな差は認められなかった。

表: アサガオに聞かせた CD と開花日

演奏者	曲	開花日(日目)						平均開花日(日目)
		1~7	8	9	10	11	12	
—	対照区	0	0	1	2	5	2	10.8
京帝フィルハーモニー	フィガロの結婚	0	3	3	3	0	1	6.9
	トルコ行進曲	0	1	1	2	3	3	9.8
	レクイエム	0	2	3	4	1	0	7.8
鴨川高等学校音楽部	フィガロの結婚	0	3	4	1	1	1	6.7
	トルコ行進曲	0	1	0	2	5	2	9.9
	レクイエム	0	2	4	3	0	1	7.8